

■コンセプト ～『新たに生まれ変わる街』

・にぎわいの創出(工業から商業へ)



【大型商業施設などの建設】

計画地の東側隣地（パナソニック工場跡地）は、以前は工場建物が立ち並ぶだけのエリアだったが、大型商業施設が 2023 年 4 月より順次開業され、新たなお出掛けスポットとして多くの人が集まりにぎわうエリアとなり、その他にも大型分譲マンションや新たな事業所の建設も計画されており、大きく生まれ変わる。

「にぎわい・楽しさ・新しさ・生まれ変わる」のイメージを外観デザインに取り込む

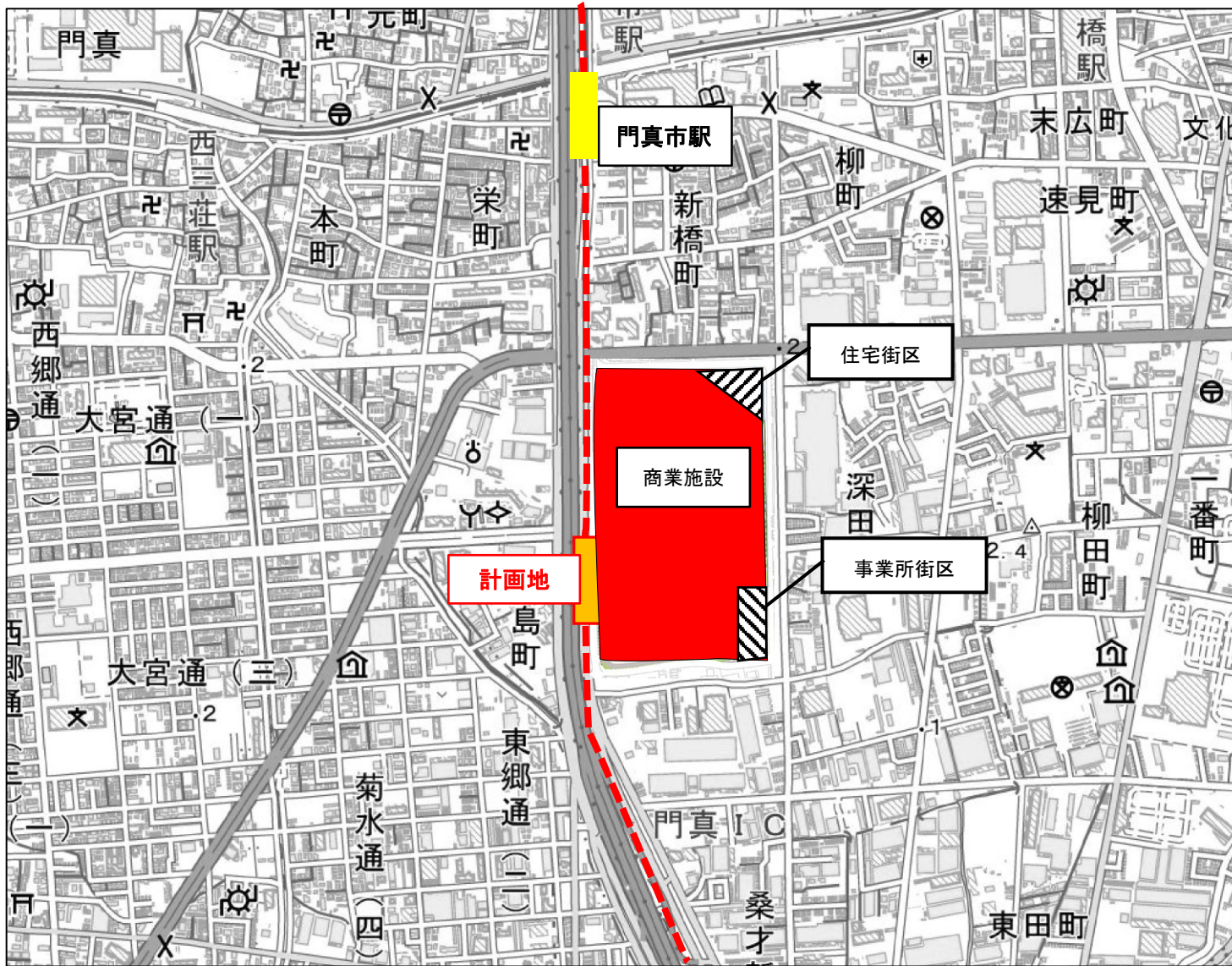
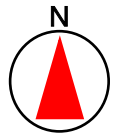
●外観デザイン概要【コンセプトカラー】

にぎわいや新しさなどのポジティブさを感じられるカラーを検討する。

■事業概要

事業名称	大阪モノレール延伸事業 松生町駅(仮称)				工事種別	新築		
敷地概要	事業地の位置	門真市松生町地内 外						
	用途地域	準工業地域			防火地域	準防火地域		
	敷地面積	—	建蔽率	60%	容積率	200%		
	その他制限等							
施設概要	事業種別	<input type="checkbox"/>	道路	<input type="checkbox"/>	河川	<input type="checkbox"/>	港湾	
		<input type="checkbox"/>	ため池・水路	<input type="checkbox"/>	ダム	<input type="checkbox"/>	砂防	
		<input type="checkbox"/>	公園緑地	<input checked="" type="checkbox"/>	公共建築物			
		<input checked="" type="checkbox"/>	その他(駅舎)					
	構造・規模	R C・鉄骨造(土木建築構造物)、地上3階建て(2階コンコース階、3階ホーム階)、 延べ面積:約810㎡(総床面積:約2,200㎡)						
担当部署	設計担当 工事担当	モノレール建設事務所 / (インフラ外は、大阪モノレール株式会社)						
	施設所管	モノレール建設事務所 (完成後は枚方土木に引継ぎ) / (インフラ外は、大阪モノレール株式会社)						

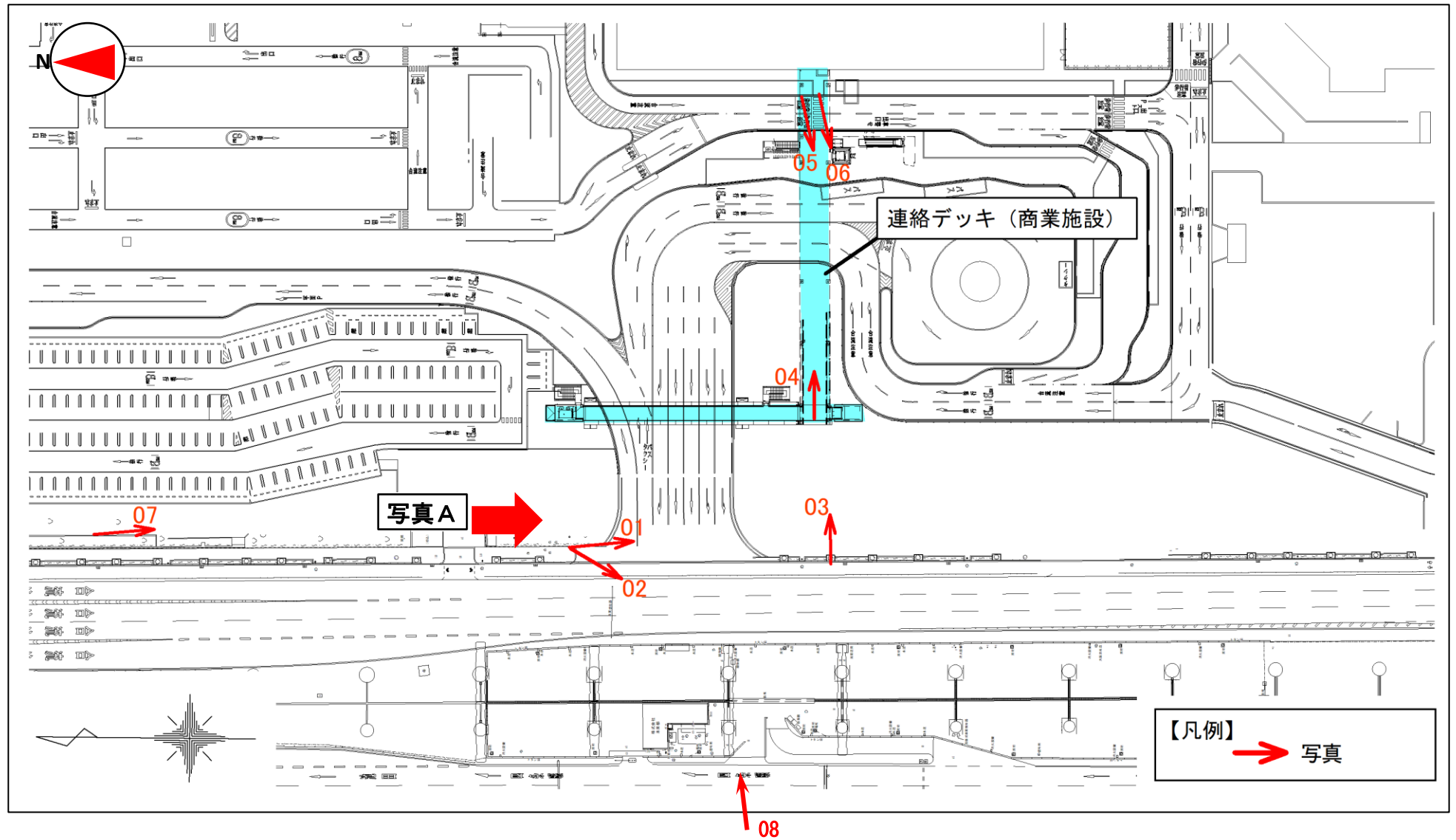
■付近見取図



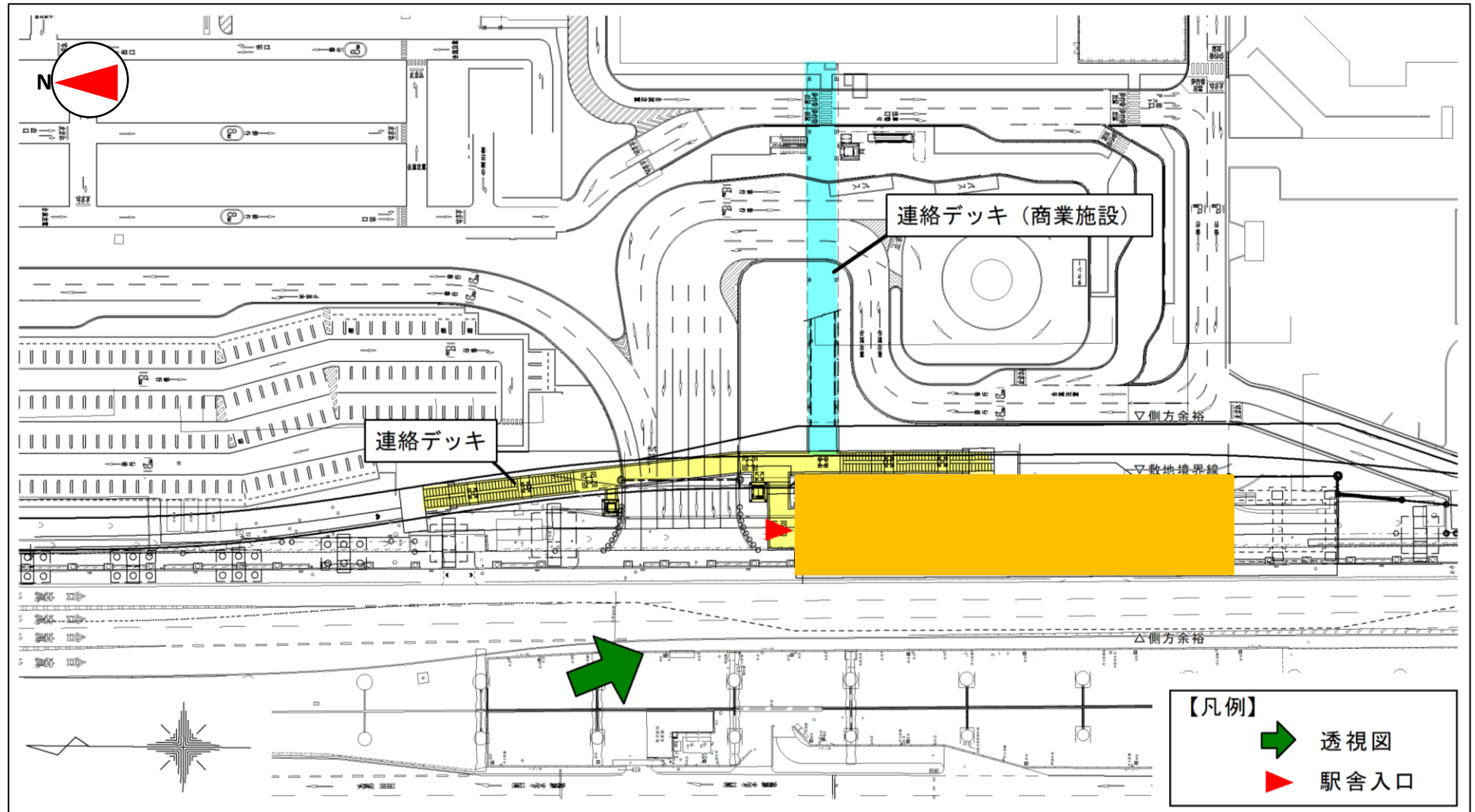
■付近見取図 (写真)



■配置現況図



■配置計画図



■写真A：建設地（北側より）



■周辺状況 (写真)



01



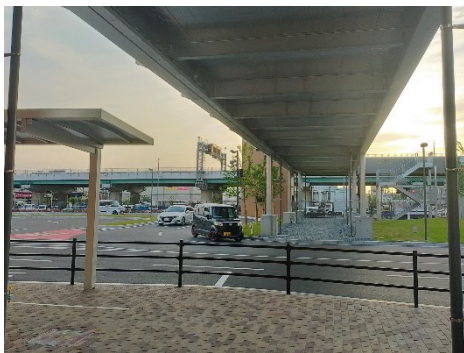
02



03



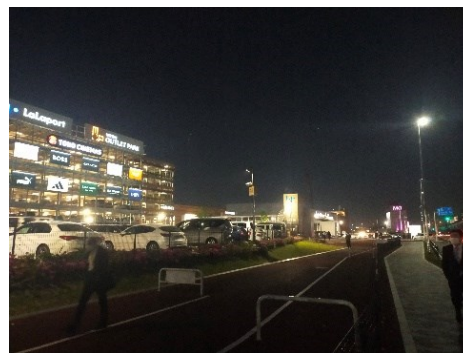
04



05



06

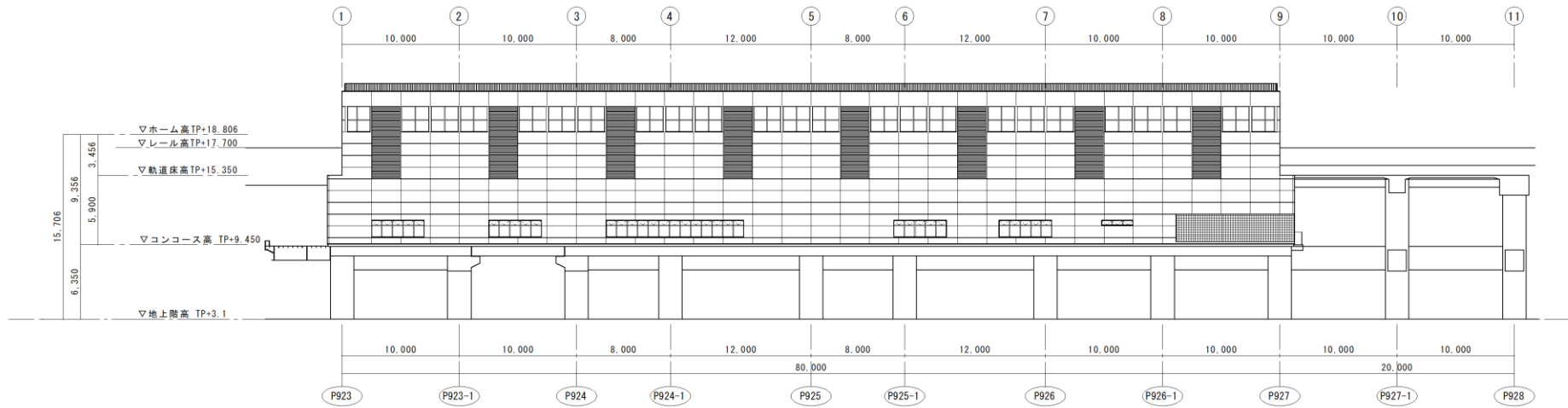


07

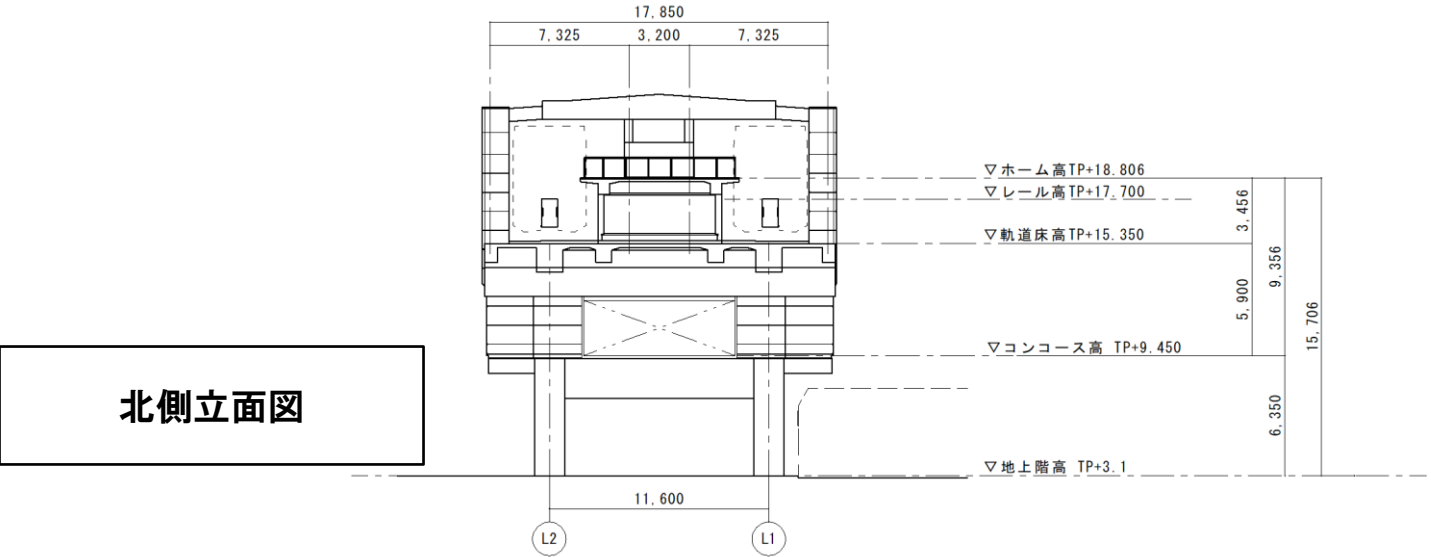


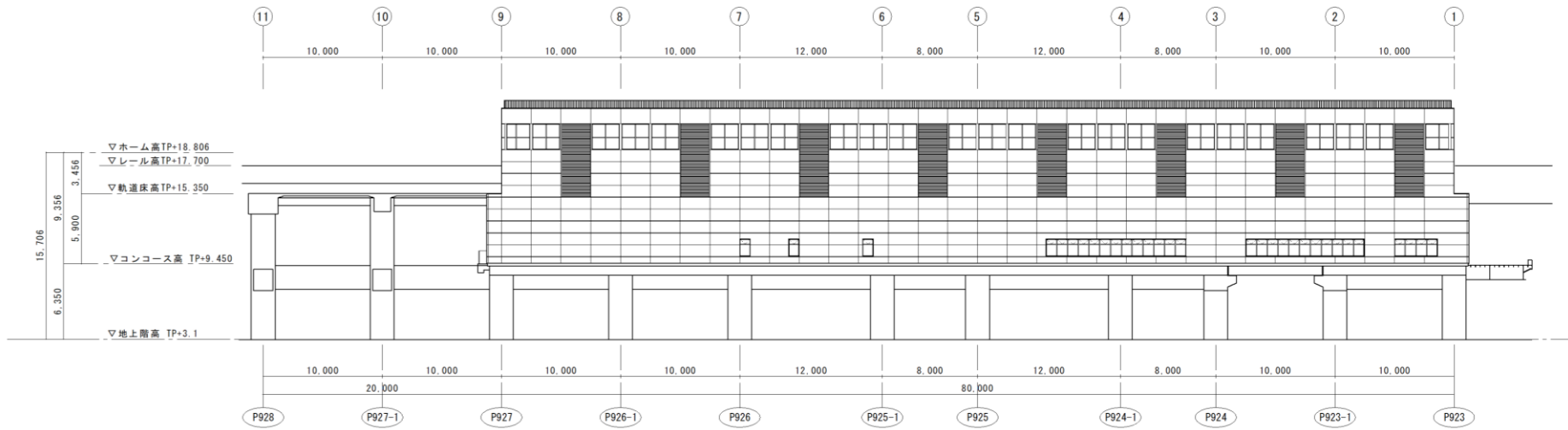
08

■立面図

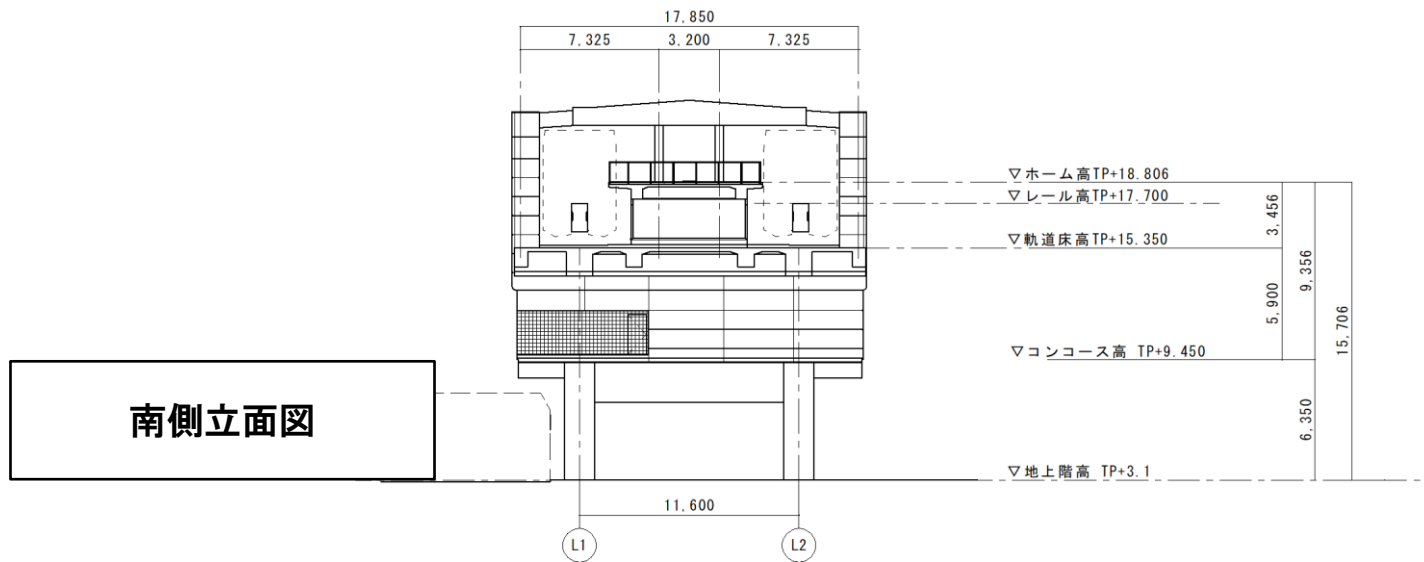


西側立面図





東側立面図



南側立面図

■パース(基本設計)



■景観形成の目標設定シート

1. 指針や基準を確認する		
事業地の景観計画等	景観行政団体名	大阪府
	景観計画名	大阪府景観計画
	景観計画区域名	大阪中央環状線等沿道区域
景観計画区域に規定された景観形成の方針や規制内容	建築物の概形	特になし
	高さの最高限度	特になし
	壁面位置	特になし
	色彩	外壁及び屋根等の基調となる色彩は、著しく派手なものとししない。
	その他	全体として一体感の感じられる道路景観をつくる。
『大阪府公共事業景観形成指針』における関連内容の確認	確認状況	確認済み
2. 事例を確認する		
参考となる事業の事例を確認	事例とした施設名	大阪モノレール各駅
	(所在)	大阪府池田市～豊中市～吹田市～茨木市～摂津市～守口市～門真市

■ 景観形成の目標設定シート

3. 周辺の景観の特徴を確認する		
■ 立地特性や周辺のまちなみ・景観資源等の確認		
周辺の地形上の特徴	平坦な市街地	
周辺の景観を構成する主要要素	道路構造物（近畿自動車道、大阪中央環状線）、大型商業施設	
周辺の景観を構成する特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪中央環状線の直上をまたがって駅が建設される。 ・西側に近畿自動車道（高架）が並走する。 ・東側に大型商業施設（アウトレットモール等）が立地している。 	
道路（沿道）から計画地までの特徴	沿道である大阪中央環状線の直上をまたがって駅が建設される。	
周辺の照明等、夜間景観の特徴	大型商業施設の照明により、夜間でも比較的明るい。	
その他	特になし	
■ 周辺からの見え方の確認		
計画地を望む主な視点場	遠景	生駒山系から
	中景	車道上から、モノレール車両内から
	近景	自転車道や歩道上から、大型商業施設から
計画地の見え方	遠景	商業施設や分譲マンションなど及び道路施設と相まった風景
	中景	駅全体のフォルム
	近景	<ul style="list-style-type: none"> ・駅にモノレール車両が包み込まれる風景 ・近畿自動車道を背景に駅を望む風景

■景観形成の目標設定シート

4. 共通指針のチェック		
施設、要素	景観形成指針	景観に関する基本的な考え方
公共建築物	景観づくりの手本としての景観形成	外壁色彩は、市の意向もふまえ、地域の活性化につながるよう検討する。
	設備関係附帯物	・ポンプ室とごみ置き場を駅舎の真下に設置するが、位置や外観について景観を損なうものとならないよう配置や色彩等について配慮する。
	駐車場・ごみ置き場等	・コンコース階に設ける室外機置場は、フェンスで囲み、駅舎壁面と同色とする等、景観を損なわないよう配慮する。
	適切な維持管理・耐震改修時	維持管理にあたり、排ガスによる汚れの付着や、通行車両等への対策を考慮する必要があるため、駅舎の形状や外壁の材質の選定に配慮する。
附属物	照明方法、夜間景観への配慮	駅舎に外壁面にはガラスが多用されるため、大型商業施設の照明状況と相まった良好な夜間景観となるよう検討を行う。
	標識・サイン等	サインは、大阪モノレール株式会社の社内基準等に基づき整備されるが、コンセプトとして整理した観点も用いることができないか、大阪府からも働きかける。

■景観形成の目標設定シート

5. 計画地の景観上、最も重要なポイントを確認する

- ・大型商業施設のデザインを考慮する。
- ・近畿自動車道が近接していることを考慮する。

6. 景観形成の目標（景観に関する考え方）を立てる

No	内容
1	門真市及び守口市からの請願を受けて建設する駅であるため、市とともに整理したコンセプトのイメージを感じられるデザインとなるよう検討する。
2	道路構造物との調和をはかる。
3	大阪中央環状線を通行する車両や連絡デッキの歩行者の視点に留意する。
4	モノレールの既設区間からの連続性を踏襲することで、利用者の安心や利便性、利用促進につなげる。

■ パース (まち全体)



広報「かどま」より

■パース (イメージ案)

